

本校の進路指導に関する新聞記事が掲載されました②

本校の進路指導への取り組みについて過日共同通信社より取材を受けました。

令和3年7月8日付「佐賀新聞」に新聞記事が掲載されました。

転換期の大学入試

入試改革で初実施となった大学入学共通テストを巡る混乱と、新型コロナウイルス感染拡大が重なり、2021年度(今春)入学者の大学入試は従来とは大きく異なる様相を見せた。受験人口の減少に伴う志願者減は22年度以降も続き、入学定員を下回る「大学全入時代」も現実味を帯びる。入試環境が転換期を迎える中、目標を掲げる受験生らの機軸が続く。

納得できる選択へ奮闘

教育現場では「次」を目指す受験生ら。志願者減や志願者減を踏まえた入試改革の対応策も出ている。志願者減を踏まえた入試改革の対応策も出ている。志願者減を踏まえた入試改革の対応策も出ている。



今春の大学入試について語る藤村の吉田真弘氏(6月、茨城県取手市)



志賀大学講堂(下)の講義風景(19日、東京・遠のの講義風景)

「次」目指す受験生ら。志願者減を踏まえた入試改革の対応策も出ている。志願者減を踏まえた入試改革の対応策も出ている。

今春入学者分の大学入試の主な特徴

受験人口減に伴う志願者減減で競争緩和

大学入学共通テストは平均点上昇

大規模な入試改革を実現した都道府県の私立大で志願者減減の激化

新型コロナウイルスの影響

私立大・国公立大・短大・専修大・専門学校と資格取得の人数

大学入試改革。変化の激しい「次」を目指す受験生ら。志願者減を踏まえた入試改革の対応策も出ている。